

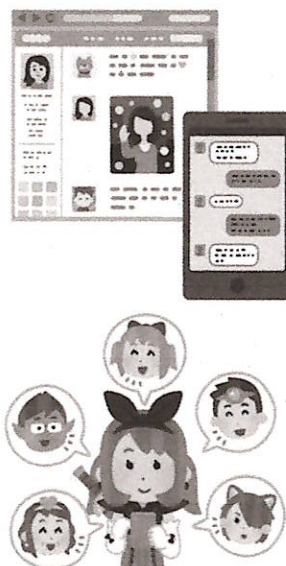
インターネット上での出会いについて

インターネット上では、面識のない人と知り合い、やりとりを通じて仲良くなる場合があります。しかし、インターネット上で知り合った人と実際に会って、トラブルに巻き込まれてしまう事案もたびたび発生しており、子どもたちが被害者となるケースも少なくありません。

面識のない人とインターネット上でどのようにして知り合うのか

子どもたちは面識のない人とどのようにして知り合っているのでしょうか。面識のない人と知り合うことが多いサービスとしてあげられるのが、SNSです。SNSにはダイレクトメッセージ(DM)という機能があります。これは特定の利用者とやりとりができるもので、他の利用者からやりとりの内容を見られることもありません。まったく面識のない人から突然ダイレクトメッセージが送られてくることも珍しくなく、そこでやりとりを重ねて仲良くなる場合があります。

それからオンラインゲームも、面識のない人と知り合うことが多いサービスです。オンラインゲームには複数人でチームを組んでプレイするものが多くあり、一緒にプレイするメンバーをSNSなどで募集し、面識のないもの同士でチームを組むこともあります。チーム内では、チャット機能を使ってメッセージのやりとりをしたり、ボイスチャットという機能を使って電話のようにおしゃべりをしたりしながらプレイできるため、メンバー同士が仲良くなりやすく、そこから個別のやりとりにつながっていく場合があります。



インターネット上には悪意のある大人がいる

インターネット上には、子どもたちと出会って誘い出すことを目的としている悪意のある大人たちがいます。こうした大人たちは、プロフィールを偽って子どもたちに近づいていく場合があります。インターネット上のやりとりでは相手の姿が見えないので、顔写真や年齢、性別などのプロフィールを簡単に偽ることができるのです。そのため、実際に会いに行くと、プロフィールとはまったくの別人が来たというケースがあります。

また、長い期間やりとりを重ねて相手に自分のことを信頼させてから、会おうと誘ってくるような人もいます。

B子ちゃん
やさしいし、
話合うな〜♪



インターネットには、犯罪行為などを目的に近づいてくる悪意のある大人がいることを、子どもたちにしっかりと認識させ、どれだけ仲良くなっても、インターネット上で知り合った人とは絶対に会わないように指導していくことが大切です。